

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 1983

田中 ひさ子
国松町10-36
☎823-1714

寺本 とも子
豊里町38-1-105
☎829-9424

中林 かずえ
宝町4-33
☎839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
☎823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
☎821-7427

21世紀のまちづくり

最大の課題は 自然環境の回復

市政学習会懇談会で 中山 徹さんが講演

二十八日、党議員団が市政学習・懇談会を開催しました。

講師の中山徹氏(奈良女子大)が「寝屋川のまちづくりと市政のありかた」について、再開発や区画整理事業にふれて講演をおこないました。

中山氏は、ヨーロッパや韓国 の例を紹介しながら、人口減少と高齢化がすすむなかでのまちづくりについて、以下のような話をしました。

①ヨーロッパでは、工場の跡地などは、環境の改善に使う。韓国のソウルでも、高速道路をつぶして元の川を再生させるなどまちづくりを変えてきてい

る。

二十一世紀のまちづくりの課題は自然環境の回復にある。

②人口減少時代を迎えている中で、高層ビルや大型ショッピングセンターをつくること

は道理にあわない、ヨーロッパでは建て替える際、規模を縮小させている。

二十世紀型の大型開発をやめ、計画的に身の丈にあったまちづくりが重要である。

人口減少時代に 高層ビルが必要か

③今後の高齢化社会で重要なのは、クルマを持たなくても自由に動ける社会に変えていくこと。公共交通であるバス路線をどう拡充させていくかが大事。

④今、住民のくらしが大変な中で、市町村がどんな役割を果たすのか問われている。今の時期に、福祉を削

って高層ビルや大型道路をつくるのはおかしい。

ただちにしないで、い事業は一旦とめて、この二、三年はその財源を市民のくらしを支えることに集中して使うこと。そのあいだに、市民と議論して決めればよいのではないか。

市民から 信頼される市役所へ

⑤この大変な時代に市政が依拠していくのは、ひとり一人の市民である。市民が信頼感を持つような市になることが大事。

市民のくらしがきびしい今、再開発など大型開発はやめて市民のくらしを支えることを最優先すべきである。

視界

市民から国民健康保険料が高いとの声が絶えません。

○五年年度の国民健康保険の加入者は、九万三四六二人で五万二一五世帯です▼そのうち法定軽減を受けている世帯(所得が低いので国の基準で保険料が軽減されている世帯)は、二万三二二六世帯(四万二七五人)で約四六%に及びます。四人家族で所得三一一万円、五人では二七九万円、最高額の年額五三万円の保険料になります▼国保会計への一般会計からの繰り入れは、○五年度約二二億円で、市は「多額の繰り入れ」だといいます。しかし、○三年度の総予算二〇〇億円の時、繰入額は二〇億円で、三年後、予算が二六二億円と六二億円も増えているのに二二億円の繰り入れにとどまっています▼また、繰入額を加入者一人当たり計算すると二万八一三八円になります。この額は大阪府下平均の三万六四二〇円と比較して、八二八二円も低いものです。せめて府下平均なみにすることは緊急課題です。



「行財政改革第3期実施計画」素案 「何でも民営化」でよいのか

市民のため 市職員は市民の財産

行財政改革第三期実施計画(素案)のパブリックコメントが実施されています。市民から、素案の内容がよくわからないとの声が届いていますので、六十七項目のうち、例として次の項目について説明します。

パブリックコメント
実施中

施策体系	事務事業の見直し(民間活力の活用等)	項目番号	15
取組項目	公立保育所の民営化	所管部局	保健福祉部
取組内容	保育ニーズへの柔軟な対応や効率的な保育所運営を行うため、公立保育所を民営化し、民間活力の活用を図る。 【これまでの取組】 ・平成16年度:市立保育所民営化方針決定 ・平成18年度:あやめ保育所の民営化		
期待する効果 【目標】	保育ニーズへの柔軟な対応、人員の削減(30人) 【目標】平成20年度に2園の民営化を実施		
年度別計画	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	20年度2園の民営化に向けた準備	民営化(2園)	22年度2園の民営化に向けた準備

公立保育所の民営化

〇四年度に策定の「保育所民営化方針」に基づき、あやめ保育所の民営化に続けて、〇八年度に、公立保育所十五園のうち、二園を民営化するものです。そのため、〇七年度にその準備をするというもので、保育士を三十人削減することを目標にしています。

この予定でいけば、来年度、民営化する保育所が公表され、たった一年で民営化が実施されることになりま

す。続いて翌年〇九年度には、次の二園の民営化の準備を行い、十年間で十園を民営化するものです。

「民間でできることはすべて民間で」という考え方は、市役所の役割を弱めることにつながるものです。

「民間でできることはすべて民間で」という考え方は、市役所の役割を弱めることにつながるものです。

乳幼児医療助成制度 拡充を求める請願が提出される

十二月市議会に、「こどもの医療費助成制度」の拡充を求める請願(請願団体 寝屋川乳幼児医療助成制度

の拡充をすすめる会)が提出されました。請願項目は、対象年齢を引き上げを求めるものです。

この請願は、十二月八日の厚生常任委員会で審査されます。

議員日誌



二十六日、西部後援会で摂津狭まで日帰りの旅行に行きました。ずいぶん前からの会員さんの要望がやっと実ったものです。

到着して、数人で散歩にでました。赤いもみじが、あざやかできれいでした。

中林 かずえ

昼食を食べてお湯につかると緊張がほぐれてきました。

この間、「あまり秋に出かけたことがなかったなあ」などと思いつつ、支えてくれる仲間や夫、子ども達にあらためて感謝しました。